

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度: 2020年度 調査実施年度: 2021年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
人文学部	1	環境エネルギー政策論	(2)	1	全学教育機構	茅野恒秀	世界および日本で進められているエネルギー戦略シフトの動向をふまえ、国際レベル、国全体、そして地方のレベルにおける環境エネルギー政策について学習する。
	2	社会学発展演習Ⅲ(環境社会学特講)	(1)	2~4	人文学部 人文学科	茅野恒秀	環境社会学の研究蓄積を適宜解説しながら、環境社会学の到達点と開拓されるべき学問的フロンティアとなる諸論点を検討する。
	3	社会学研究Ⅱ(環境・地域社会学)	(1)	大学院	総合人文社会科学 研究科	茅野恒秀	環境社会学、地域社会学の領域における代表的な実証研究の蓄積を俯瞰し、研究対象の選定と主題の構成の相互関係、また実証と理論の相互関係について経験的に理解する。
経法学部	1	環境法入門	(1)	1	全学教育機構	小林 寛	環境法に関する入門(法学への導入講義を含む)の講義を総論(基本理念・原則等)と各論(大気汚染等)に分けて行った。
	2	環境法務実習	(1)	3	経法学部 総合法律学科	小林 寛	大学で学んだ環境法学が社会における業務の現場(行政、法律事務所、民間企業)においてどのように運用されているのかということを実践的に学習した。
	3	国際環境法	(1)	3	経法学部 総合法律学科	小林 寛 三好規正 横濱和弥	国際法の基本的な考え方並びに条約・国際慣習法を中心に形成されてきた国際環境法の基本原則及び各論(オゾン層破壊等)を概説した。
理学部	1	グリーンサイエンス通論Ⅰ	(1), (2)	1	理学部	オムニバス	グリーンサイエンスの内容を担当し、化学物質による環境汚染を防止し、人体や生態系への影響を最小限に抑えることを目指した化学についての講義を行った。環境分析のいくつかの項目を取り上げ、その測定法を解説した。
	2	グリーンサイエンス通論Ⅱ	(1)	2	理学部	オムニバス	グリーンサイエンスに関係する内容を6名の教員が分担して講義する地球環境の成り立ちと変化を、地球時間と人間時間の視点から理解する
	3	自然科学史	(1)	1	全学教育機構	村越直美	地磁気の性質とその変遷およびチバニ안의解説
	4	生きものたちのふしぎ・多様性ゼミ	(1)	1	全学教育機構	東城幸治	生物の系統や進化・環境との関わりについてディスカッションを実施する。
	5	系統分類学	(1)	1	理学部理学科 生物学コース	東城幸治	地球上に生命が誕生してからの約41億年間、生物はどのように進化・多様化してきたのか? その環境との関わりや適応について、プロセスを理解するとともに系統進化プロセスを反映させた分類体系を理解する。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度: 2020年度 調査実施年度: 2021年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	6	化学実験	(1)	1	理学部理学科	石川 厚 浜崎亜富ほか	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	7	分析化学実験	(1)	2	理学部理学科 化学コース	巽 広輔 高橋史樹 金 継業	実験で出る廃液の環境への影響について説明し、その適切な処理方法について指導した。
	8	物理化学実験	(1)	3	理学部理学科 化学コース	浜崎亜富 二村竜祐 飯山 拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	9	物理化学 I	(1)	2	理学部理学科 化学コース	浜崎亜富	量子化学・光合成反応を絡めた環境についての講義
	10	物理化学II	(1)	2	理学部理学科 化学コース	飯山 拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
	11	物理化学III	(1)	3	理学部理学科 化学コース	飯山 拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
	12	進化多様性生物学	(1)	2	理学部理学科 生物学コース	市野隆雄	人間の性質はどこまで遺伝子によって決まっているのか、また地球上に人類が出現して以来、人間はどれほど生物種の絶滅や生態系の攪乱を引き起こしてきたか。これらの点について科学的に広く理解することが第一のねらいである。
	13	地球史学	(1)	2	理学部理学科 地球学コース	吉田孝紀	地球環境の変遷を教える
	14	大気環境学	(1)	2	理学部理学科 物質循環学コース	岩田拓記	様々な大気現象を理解する上で重要な、放射、熱力学、大気運動の基礎について学習する。
	15	堆積環境学	(1)	2・3	理学部理学科 物質循環コース	村越直美	各堆積環境の成り立ちとそのプロセスを学ぶ
	16	計測化学特論		修士1年		高橋史樹	諏訪湖の採水を通じて環境への理解を深める。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度: 2020年度 調査実施年度: 2021年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育機構	1	環境保全論入門	(1)	1	全学教育機構	浅野 郁	人間社会が抱えている様々な環境問題について、その問題の基礎的な知識や概念を修得し、自分なりの考えが述べられる思考力を養成する。
	2	環境マネジメント入門ゼミ	(2)	1	全学教育機構	浅野 郁	環境マネジメントシステムの基礎知識を修得した上で、様々な取り組み例を調査する。最後に、SDGs時代に求められる今後の環境マネジメントについて議論する。
	3	生物多様性保全ゼミ	(1)	1	全学教育機構	浅野 郁	生物多様性に関する正確な知識の習得し、信州地域・日本国内で現在問題となっている生物多様性関連の問題と対策について調査・発表・議論するゼミ。
	4	生活の中の化学	(1)	1	全学教育機構	勝木明夫	環境問題の基本となる基礎的な化学を授業で扱い、環境問題についても考えるきっかけとなるように進めた
	5	総合的な学習の時間の指導法	(1)	2	教職科目	小山茂喜	総合的な学習を展開する上での環境問題に関わる教育内容の扱いについて
	6	教育課程の編成法	(1)	1	教職科目	小山茂喜	環境問題に関わる教育内容の扱いについて
	7	自然環境と文化	(1)	全	全学教育機構	分藤大翼	人類学的な知見にもとづいて、自然環境と密接に関わりながら生きている人々の文化を紹介します。また同じ項目について、私たちの文化の現状についても紹介し、今後の私たちの生方、自然との望ましい関わり方について考えます。
	8	環境社会学入門	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	本講では、環境社会学の理論的思考や実践的研究方法を学んだ上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができることを目標とします。
	9	熱帯雨林と社会	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	熱帯産の食料や資源などを事例に、それらの大量移動に伴う影の問題や現地社会と私たちが抱える現代的課題について考えます。
	10	生態資源論ゼミ	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	生態資源とは、人とともに存在し生きてきた資源を指します。県内の生態資源を事例とし、それらの利用の歴史と現状、展望を探ります。
	11	環境マインド実践基礎論	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎 加藤麻理子 浅野 郁	環境分野の幅広い課題の基礎知識を身につけ、特に国際社会の共通の目標であるSDGsや、持続可能な循環共生型の社会構築を意識して、課題解決の考え方を学びます。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度: 2020年度 調査実施年度: 2021年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育機構	12	環境マインドを現場で体験するゼミ	(2)	1	全学教育機構	大塚 勉 池田敏彦 金沢謙太郎	水生生物による環境調査、NPOの環境保全活動などの見学実習を通じて、信州の地域環境への理解を深め、社会貢献のあり方を議論します。
	13	アジア開発環境論	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	「アジア環境白書」シリーズを手掛かりとして、アジアの開発と環境をめぐる「いま」を読み解いていきます。「持続可能な開発」概念を問い直し、私たちに求められている「かわり」を議論します。
	14	環境社会学概論	(2)	3	経法学部	金沢謙太郎	本講では、環境問題、環境文化、環境行動の3つの領域における問題群から、具体的事例に基づいて考えていきます。
	15	日本国憲法	(1)	全	全学教育機構	小池洋平	日本国憲法を素材として、法律環境および政治環境について概説した。
	16	現代社会における人権	(1)	全	全学教育機構	小池洋平	現代社会における人権問題を素材として、法律環境と政治環境で生じている問題を人権の視点からいかに解決すべきかを解説した。
	17	現代社会における統治機構	(1)	全	全学教育機構	小池洋平	現代社会における統治に関わる憲法問題を素材として、政治環境で生じている問題を法的にいかに解決すべきかを解説した。
	18	トレッキング1	(1)	1	全学教育機構	廣野・加藤	「信州の自然体感」をテーマに、自己の身体を再確認し、運動の重要性の認識と生涯学習への導入を図るとともに、信州の自然環境を体感することにより環境問題について理解を深める授業。
	19	アウトドアの達人	(1)	1	全学教育機構	古屋・加藤	乗鞍高原をフィールドとして、夏・冬を通じた地形や季節の特色を活かしたアウトドア活動を実施。学生それぞれが自然との関わりを持つソロ活動も取り入れている
	20	エコ水車と地域バイオマス活用(6-10回フィールドワーク)	(1)	1	全学教育機構	池田敏彦 天野良彦 林 靖人	信州の自然資源を活用した小水力・ナノ水力発電や木材等を中心とした生物由来資源を活用したエネルギー利用についてフィールドワーク等も交えながら学ぶ
医学部	1	健康科学・理論と実践		1	共通教育科目	塚原照臣	地球環境の変化(主に温暖化)と私たちの健康への影響について理解を深め、自らがどう対処していくかを習得することを目的に授業を行った。
	2	衛生学公衆衛生学演習・実習 I 環境医学概論		3	医学部 医学科	野見山哲生	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度: 2020年度 調査実施年度: 2021年度)

分類: (1) 自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2) 環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
医学部	3	衛生学公衆衛生学演習・実習 I 環境医学の実際1,2		3	医学部 医学科	塚原照臣	環境因子と健康影響について授業を行った。
	4	ユニット講義(臨床決断・社会医学)環境医学のトピック		6	医学部 医学科	大前和幸	環境保健におけるトピックスを通じて、健康と環境の関係について概略について授業を行った。
	5	ユニット講義(臨床決断・社会医学)子どもの健康と環境に関する全国調査		6	医学部 医学科	野見山哲生	エコチル調査の概要を理解し、環境要因と子どもの成長・発達について授業を行った。
	6	社会・環境人間健康学概論		1	大学院修士課程	野見山哲生他	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。
	7	私たちと放射線	(1), (2)	全	全学教育機構	廣田昌大	放射線の基礎知識、自然界の放射線、放射線利用、健康への影響、放射線のリスクとその管理等について、基礎からやや専門的情報を共有する。
	8	看護学概論 I	(1)	1	医学部保健学科 看護学専攻	小林千世	環境問題と健康の関連、対象と環境との関わりを理解する。
	9	看護学概論 II	(1)	1	医学部保健学科 看護学専攻	小林千世	健康を維持するために、健康を整える方法を理解する。